

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	81	施設名称	亀川ダム管理所
	所在地	天草市杵宇土町	施設管理所属	河川課
	敷地面積	河川敷	都市計画区域	都市計画区域外
	延床面積	228.0 m ²	用途地域	
施設の目的	洪水調節や利水補給等の操作、各種設備の管理運用			



2. 建物別一覧

面積: m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	管理所	1981	RC	228	

3. 建物毎の概要等

(1) 管理所

① 概要

面積: m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	管理所	1981	RC	228.0	2	0	39

※築年数はR3.3月末時点

② 利活用の方性

A項目: 施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	4	16	17	16	1
適合度②/①	0.40	0.64	0.63	0.57	0.14

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目: 長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500m ² 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	目標使用年数 60年 ※(令和23年)
	・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。 ・現状の用途に適した形での転用や改善について検討する必要がある。(スペース利用率や道路アクセスに課題)

③ 計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位: 百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		6.3		24.0		1.4	0.1				3.1
維持管理費		1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
撤去費											
合計		7.3	1.0	25.0	1.0	2.4	1.1	1.0	1.0	1.0	4.1
累計		7.3	8.3	33.3	34.3	36.8	37.9	38.9	39.9	40.9	45.0

施設アセスメント調査から算出。

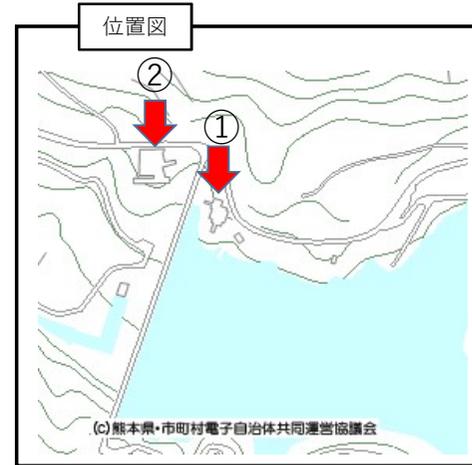
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	82	施設名称	石打ダム管理所
	所在地	宇城市三角町中村	施設管理所属	河川課
	敷地面積	河川敷	都市計画区域	都市計画区域外
	延床面積	726.1 m ²	用途地域	
施設の目的	①洪水調節や利水補給等の操作、各種設備の管理運用 ②河川行政の広報、学習の場			



2. 建物別一覧

面積: m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	管理棟	1991	RC	270.4	
2	資料館	1993	RC	455.7	

3. 建物毎の概要等

(1)管理棟

①概要

面積: m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	管理棟	1991	RC	270.4	2	0	30

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目:施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	3	18	20	19	0
適合度②/①	0.30	0.72	0.74	0.68	0.00

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目:長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500m ² 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	目標使用年数	60年
		※(令和33年)
・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。		

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位:百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
転用費用		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
長寿命化費用		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
更新・修繕費		13.9	0.0	25.6	0.0	27.2	0.1	0.0	3.4	0.0	3.1
維持管理費		1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2
撤去費											
合計		15.1	1.2	26.9	1.2	28.4	1.3	1.2	4.6	1.2	4.3
累計		15.1	16.3	43.2	44.4	72.7	74.0	75.2	79.8	81.0	85.3

施設アセスメント調査から算出。

※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

(2)資料館

①概要

面積: m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
2	資料館	1993	RC	455.7	2	0	28

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目:施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	3	17	18	13	2
適合度②/①	0.30	0.68	0.67	0.46	0.29

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目:長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500m ² 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数 60年
※(令和35年)

・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。

・現状の用途に適した形での転用や改善について検討する必要がある。(スペース利用度や道路アクセスに課題)

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位:百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		18.8		103.2			0.1		5.4		
維持管理費		2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
撤去費											
合計		20.8	2.0	105.2	2.0	2.0	2.1	2.0	7.4	2.0	2.0
累計		20.8	22.8	128.0	130.1	132.1	134.2	136.2	143.6	145.7	147.7

施設アセスメント調査から算出。

※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	83	施設名称	坪井川水系遊水地管理棟
	所在地	熊本市北区清水町	施設管理所属	河川課
	敷地面積	河川敷	都市計画区域	市街化調整区域
	延床面積	703.9 m ²	用途地域	
施設の目的	県行政の施策実施のための施設			



2. 建物別一覧

面積：m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	管理棟	1998	RC	703.9	

3. 建物毎の概要等

(1)管理棟

①概要

面積：m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	管理棟	1998	RC	703.9	2	0	23

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	3	17	18	15	2
適合度②/①	0.30	0.68	0.67	0.54	0.29

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500m ² 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

目標使用年数 90年
※（令和70年）

・適切な保全を実施しながら継続利用すること、長寿命化要件に該当するため目標使用年数を90年に設定することが可能である。

・現状の用途に適した形での転用や改善について検討する必要がある。（スペース利用度に課題）

A・B項目から導かれる方向性

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		9.5	67.1	35.1		62.0		0.1	12.0		1.3
維持管理費		3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1
撤去費											
合計		12.6	70.3	38.2	3.1	65.1	3.1	3.3	15.1	3.1	4.4
累計		12.6	82.9	121.1	124.2	189.3	192.5	195.7	210.8	213.9	218.4

施設アセスメント調査から算出。

※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

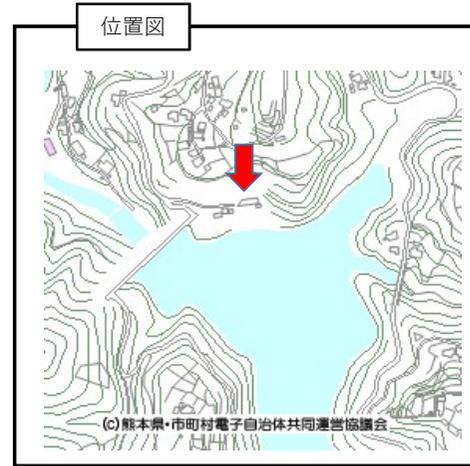
1. 施設概要

基本情報	施設番号	84	施設名称	氷川ダム管理所
	所在地	八代市泉町下岳	施設管理所属	河川課
	敷地面積	河川敷	都市計画区域	都市計画区域外
	延床面積	713.8 m ²	用途地域	
施設の目的	洪水調節や利水補給等の操作、各種設備の管理運用			

2. 建物別一覧

面積：m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	管理棟	2001	RC	713.8	



3. 建物毎の概要等

(1) 管理棟

① 概要

面積：m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	管理棟	2001	RC	713.8	3	0	19

※築年数はR3.3月末時点

② 利活用の方角性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	4	19	20	19	2
適合度②/①	0.40	0.76	0.74	0.68	0.29

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500m ² 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	目標使用年数 90年 ※(令和73年)
	・適切な保全を実施しながら継続利用すること、長寿命化要件に該当するため目標使用年数を90年に設定することが可能である。 ・現状の用途に適した形での転用や改善について検討する必要がある。(スペース利用率や道路アクセスに課題)

③ 計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦 西暦	R3 2021	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025	R8 2026	R9 2027	R10 2028	R11 2029	R12 2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		9.4	28.8	55.8		1.2	4.4		0.1		5.0
維持管理費		3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2
撤去費											
合計		12.6	32.0	59.0	3.2	4.4	7.6	3.2	3.2	3.2	8.2
累計		12.6	44.5	103.5	106.7	111.1	118.7	121.9	125.1	128.3	136.5

施設アセスメント調査から算出。

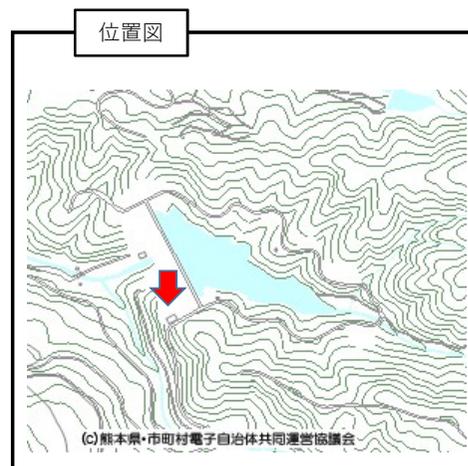
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	85	施設名称	上津浦ダム管理棟
	所在地	天草市有明町上津浦	施設管理所属	河川課
	敷地面積	河川敷	都市計画区域	都市計画区域外
	延床面積	268.5 m ²	用途地域	
施設の目的	洪水調節や利水補給等の操作、各種設備の管理運用			



2. 建物別一覧

面積: m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	管理棟	2003	RC	268.5	

3. 建物毎の概要等

(1)管理棟

①概要

面積: m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	管理棟	2003	RC	268.5	2	0	17

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目:施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	3	17	20	20	0
適合度②/①	0.30	0.68	0.74	0.71	0.00

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目:長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500m ² 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	目標使用年数	60年
		※(令和45年)
	・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。	

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位: 百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		1.3		33.5		16.1	0.0		1.7		1.9
維持管理費		1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2
撤去費											
合計		2.5	1.2	34.7	1.2	17.3	1.2	1.2	2.8	1.2	3.1
累計		2.5	3.7	38.4	39.6	57.0	58.2	59.4	62.2	63.4	66.5

施設アセスメント調査から算出。

※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	86	施設名称	市房ダム管理所
	所在地	球磨郡水上村岩野	施設管理所属	河川課
	敷地面積	国有地	都市計画区域	都市計画区域外
	延床面積	238.9 m ²	用途地域	
施設の目的	洪水調節や利水補給等の操作、各種設備の管理運用			



2. 建物別一覧

面積:m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	制御室	1959	RC	238.9	

3. 建物毎の概要等

(1) 制御室

① 概要

面積:m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	制御室	1959	RC	238.9	2	0	61

※築年数はR3.3月末時点

② 利活用の方性

A項目:施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	5	18	19	20	0
適合度②/①	0.50	0.72	0.70	0.71	0.00

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目:長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500m ² 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	目標使用年数 90年 ※(令和31年)
	<ul style="list-style-type: none"> ・長寿命化要件には該当せず目標使用年数に到達しているが、H30年~H31年に耐震補強工事を行っており、適切な保全を実施しながら目標使用年数90年まで継続利用することが可能である。 ・現状の用途に適した形での転用や改善について検討する必要がある。(スペース利用度や道路アクセスに課題)

③ 計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位:百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		5.9		7.7		3.2	0.1		5.7		1.7
維持管理費		1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1
撤去費											
合計		6.9	1.1	8.8	1.1	4.2	1.1	1.1	6.7	1.1	2.7
累計		6.9	8.0	16.8	17.9	22.1	23.2	24.3	31.0	32.1	34.8

施設アセスメント調査から算出。

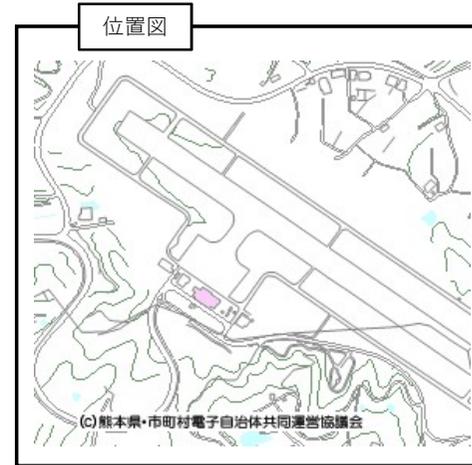
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	87	施設名称	天草空港管理事務所
	所在地	天草市五和町城河原1丁目	施設管理所属	港湾課
	敷地面積	438,468.94 m ²	都市計画区域	都市計画区域外
	延床面積	1,040.5 m ²	用途地域	
施設の目的	天草空港の管理運営			



(出典: 国土地理院)

2. 建物別一覧

面積: m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	空港ターミナルビル	1999	RC	1040.5	

3. 建物毎の概要等

(1) 空港ターミナルビル

① 概要

面積: m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	空港ターミナルビル	1999	RC	1,040.5	3	0	21

※築年数はR3.3月末時点

② 利活用の方向性

A項目: 施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	3	18	19	18	1
適合度②/①	0.30	0.72	0.70	0.64	0.14

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目: 長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500m ² 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	目標使用年数 90年 ※(令和71年)
	・適切な保全を実施しながら継続利用すること、長寿命化要件に該当するため目標使用年数を90年に設定することが可能である。 ・現状の用途に適した形での転用や改善について検討する必要がある。(スペース利用度に課題)

③ 計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位: 百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		4.7	62.1	14.0	9.0	134.0				7.3	6.0
維持管理費		4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6
撤去費											
合計		9.4	66.7	18.6	13.6	138.6	4.6	4.6	4.6	12.0	10.6
累計		9.4	76.1	94.7	108.3	246.9	251.5	256.1	260.8	272.7	283.3

施設アセスメント調査から算出。

※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	88	施設名称	県立教育センター
	所在地	山鹿市小原	施設管理所属	教育政策課
	敷地面積	54,169.0 m ²	都市計画区域	非線引き都市計画区域
	延床面積	5,661.8 m ²	用途地域	
施設の目的	熊本県における教育の充実及び振興を図るための施設			

2. 建物別一覧

面積：m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	本館棟	1971	RC	2082.8	
2	技術家庭棟	1971	RC	780.4	
3	情報処理教育棟	1972	RC	942.5	
4	理科教育棟	1971	RC	903.5	
5	体育研修棟	1974	SRC	952.6	



(出典：国土地理院)



(出典：国土地理院)

3. 建物毎の概要等

(1) 本館棟

① 概要

面積：m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	本館棟	1971	RC	2,082.8	2	0	49

※築年数はR3.3月末時点

② 利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	3	16	18	13	2
適合度②/①	0.30	0.64	0.67	0.46	0.29

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500m ² 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	目標使用年数	60年
		※(令和13年)
	・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。	
	・令和9(2027)年度を目安として建替等の検討に着手する必要がある。	

③ 計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		34.9	1.2	21.9	3.6	14.7	0.2		11.8	3.6	
維持管理費		9.3	9.3	9.3	9.3	9.3	9.3	9.3	9.3	9.3	9.3
撤去費											
合計		44.1	10.5	31.2	12.9	23.9	9.5	9.3	21.0	12.9	9.3
累計		44.1	54.6	85.8	98.7	122.6	132.1	141.3	162.4	175.3	184.5

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

(2)技術家庭棟

①概要

面積: m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
2	技術家庭棟	1971	RC	780.4	1	0	49

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目:施設アセスメント調査

利用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	2	15	16	13	1
適合度②/①	0.20	0.60	0.59	0.46	0.14

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目:長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500m ² 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	目標使用年数 60年 ※(令和13年)
	<ul style="list-style-type: none"> 適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。 令和9(2027)年度を目安として建替等の検討に着手する必要がある。 現状の用途に適した形での転用や改善について検討する必要がある。(スペース利用度や道路アクセスに課題)

(3)情報処理教育棟

①概要

面積: m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
3	情報処理教育棟	1972	RC	942.5	2	0	49

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目:施設アセスメント調査

利用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	2	17	15	12	3
適合度②/①	0.20	0.68	0.56	0.43	0.43

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目:長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500m ² 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	目標使用年数 90年 ※(令和44年)
	<ul style="list-style-type: none"> 適切な保全を実施しながら継続利用すること、長寿命化要件に該当するため目標使用年数を90年に設定することが可能である。 令和3(2021)年度を目安として長寿命化改修(築後40年目を基準)の検討に着手する必要がある。 現状の用途に適した形での転用や改善について検討する必要がある。(スペース利用度や道路アクセスに課題)

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位:百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		23.7	0.5	7.4			4.4		0.1	2.1	5.5
維持管理費		3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5
撤去費											
合計		27.2	3.9	10.8	3.5	3.5	7.9	3.5	3.5	5.6	9.0
累計		27.2	31.1	42.0	45.4	48.9	56.8	60.3	63.8	69.4	78.4

施設アセスメント調査から算出。

※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位:百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		79.6	0.6	6.5			5.3		6.7	2.6	
維持管理費		4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2
撤去費											
合計		83.8	4.8	10.7	4.2	4.2	9.5	4.2	10.9	6.8	4.2
累計		83.8	88.5	99.2	103.4	107.6	117.1	121.3	132.2	139.0	143.2

施設アセスメント調査から算出。

※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

(4) 理科研修棟

① 概要

面積: m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
4	理科教育棟	1971	RC	903.5	2	0	49

※築年数はR3.3月末時点

② 利活用の方向性

A項目: 施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	1	15	17	14	2
適合度②/①	0.10	0.60	0.63	0.50	0.29

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判断。
適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目: 長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500m ² 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	目標使用年数	60年
		※(令和13年)
	・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。 ・令和9(2027)年度を目安として建替等の検討に着手する必要がある。	

(5) 体育研修棟

① 概要

面積: m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
5	体育研修棟	1974	SRC	952.6	1	0	46

※築年数はR3.3月末時点

② 利活用の方向性

A項目: 施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	2	12	14	14	1
適合度②/①	0.20	0.48	0.52	0.50	0.14

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判断。
適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目: 長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500m ² 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	目標使用年数	90年
		※(令和46年)
	・適切な保全を実施しながら継続利用することと、長寿命化要件に該当するため目標使用年数を90年に設定することが可能である。 ・令和3(2021)年度を目安として長寿命化改修(築後40年目を基準)の検討に着手する必要がある。	

③ 計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位: 百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		29.4		8.0			0.2		11.4	1.6	
維持管理費		4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0
撤去費											
合計		33.5	4.0	12.0	4.0	4.0	4.2	4.0	15.4	5.6	4.0
累計		33.5	37.5	49.5	53.5	57.5	61.7	65.7	81.1	86.7	90.7

施設アセスメント調査から算出。

※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

③ 計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位: 百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用		113.4									
更新・修繕費		222.4		12.7			5.4		7.7	1.7	
維持管理費		4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2
撤去費											
合計		340.0	4.2	16.9	4.2	4.2	9.6	4.2	12.0	5.9	4.2
累計		340.0	344.2	361.1	365.4	369.6	379.2	383.5	395.4	401.3	405.6

施設アセスメント調査から算出。

※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に注目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	89	施設名称	天草青年の家
	所在地	上天草市松島町	施設管理所属	社会教育課
	敷地面積	168,557.0 m ²	都市計画区域	都市計画区域外
	延床面積	4,236.7 m ²	用途地域	
施設の目的	健全な青少年の育成を図るとともに、県民の生涯学習の振興に資するために設置された社会教育施設			



2. 建物別一覧

面積: m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	本館	1973	RC	1119.8	
2	講堂	1973	RC	230.6	
3	体育館	1973	RC	913.0	
4	宿舎A	1973	RC	648.0	
5	宿舎B	1973	RC	648.0	
6	食堂	1973	RC	440.0	
7	宿泊棟(和室)	1987	RC	237.3	

(出典: 国土地理院)

3. 建物毎の概要等

(1) 本館

① 概要

面積: m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	本館	1973	RC	1,119.8	2	0	48

※築年数はR3.3月末時点

② 利活用の方向性

A項目: 施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	4	16	18	14	1
適合度②/①	0.40	0.64	0.67	0.50	0.14

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目: 長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500m ² 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数 63年
※(令和18年)

・天草青年の家保全計画に基づき目標使用年数を63年に設定し、計画的に改修工事を実施する。

・天草青年の家保全計画に基づき、以下の改修工事を行う。

- ・R4 外壁改修
- ・R6 内装工事
- ・R8 電気改修

③ 計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位: 百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用		133.3									
更新・修繕費		66.1		210.3			0.3		14.0	2.0	12.9
維持管理費		5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0
撤去費											
合計		204.3	5.0	215.3	5.0	5.0	5.3	5.0	19.0	6.9	17.9
累計		204.3	209.3	424.5	429.5	434.5	439.8	444.7	463.7	470.7	488.5

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

(2)講堂

①概要

面積: m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
2	講堂	1973	RC	230.6	2	0	48

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目: 施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	4	16	17	13	1
適合度②/①	0.40	0.64	0.63	0.46	0.14

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目: 長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500m ² 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	目標使用年数	63年
		※(令和18年)
	・天草青年の家保全計画に基づき目標使用年数を63年に設定し、計画的に改修工事を実施する。	
	・天草青年の家保全計画に基づき、以下の改修工事を行う。	
	・R4 外壁改修	
	・R6 内装工事	
	・R9 電気改修	

(3)体育館

①概要

面積: m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
3	体育館	1973	RC	913.0	2	0	48

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目: 施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	4	16	17	13	1
適合度②/①	0.40	0.64	0.63	0.46	0.14

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目: 長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500m ² 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	目標使用年数	63年
		※(令和18年)
	・天草青年の家保全計画に基づき目標使用年数を63年に設定し、計画的に改修工事を実施する。	
	・天草青年の家保全計画に基づき、以下の改修工事を行う。	
	・R6, 7 内装・アリーナ床改修、電気・機械設備改修	

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位: 百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		16.3					1.4		1.1	0.3	
維持管理費		1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
撤去費											
合計		17.3	1.0	1.0	1.0	1.0	2.5	1.0	2.2	1.3	1.0
累計		17.3	18.3	19.3	20.4	21.4	23.8	24.9	27.0	28.3	29.4

施設アセスメント調査から算出。

※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位: 百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		55.6		8.3			0.1		10.1	1.2	
維持管理費		4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1
撤去費											
合計		59.7	4.1	12.4	4.1	4.1	4.2	4.1	14.2	5.2	4.1
累計		59.7	63.7	76.1	80.1	84.2	88.4	92.4	106.6	111.8	115.8

施設アセスメント調査から算出。

※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

(4) 宿舎A

①概要

面積: m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
4	宿舎A	1973	RC	648.0	2	0	48

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目: 施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	4	15	16	12	1
適合度②/①	0.40	0.60	0.59	0.43	0.14

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目: 長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500m ² 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	目標使用年数	63年
		※(令和18年)
	・天草青年の家保全計画に基づき目標使用年数を63年に設定し、計画的に改修工事を実施する。	

(5) 宿舎B

①概要

面積: m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
5	宿舎B	1973	RC	648.0	2	0	48

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目: 施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	4	16	17	12	1
適合度②/①	0.40	0.64	0.63	0.43	0.14

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目: 長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500m ² 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	目標使用年数	63年
		※(令和18年)
	・天草青年の家保全計画に基づき目標使用年数を63年に設定し、計画的に改修工事を実施する。	
	・天草青年の家保全計画に基づき、以下の改修工事を行う。 ・R4 外壁改修 ・R6, 7 内装改修、電気設備改修	

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位: 百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		58.0		2.2					8.8		2.2
維持管理費		2.9	2.9	2.9	2.9	2.9	2.9	2.9	2.9	2.9	2.9
撤去費											
合計		60.8	2.9	5.1	2.9	2.9	2.9	2.9	11.7	2.9	5.1
累計		60.8	63.7	68.8	71.7	74.6	77.5	80.4	92.1	94.9	100.0

施設アセスメント調査から算出。

※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位: 百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		63.0		1.8			0.6		8.3		2.2
維持管理費		2.9	2.9	2.9	2.9	2.9	2.9	2.9	2.9	2.9	2.9
撤去費											
合計		65.8	2.9	4.7	2.9	2.9	3.4	2.9	11.1	2.9	5.1
累計		65.8	68.7	73.4	76.3	79.2	82.6	85.5	96.6	99.5	104.6

施設アセスメント調査から算出。

※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

(6) 食堂

①概要

面積: m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
6	食堂	1973	RC	440.0	1	0	48

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目: 施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	4	16	18	13	0
適合度②/①	0.40	0.64	0.67	0.46	0.00

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目: 長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500m ² 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数 63年
※(令和18年)

- ・天草青年の家保全計画に基づき目標使用年数を63年に設定し、計画的に改修工事を実施する。
- ・天草青年の家保全計画に基づき、以下の改修工事を行う。
 - ・R4 外壁改修
 - ・R6, 7 空調改修

(7) 宿泊棟(和室)

①概要

面積: m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
7	宿泊棟(和室)	1987	RC	237.3	1	0	34

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目: 施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	4	18	19	13	1
適合度②/①	0.40	0.72	0.70	0.46	0.14

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目: 長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500m ² 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数 49年
※(令和18年)

- ・天草青年の家保全計画に基づき目標使用年数を49年に設定し、計画的に改修工事を実施する。
- ・天草青年の家保全計画に基づき、以下の改修工事を行う。
 - ・R9 内外装改修、電気・機械設備改修

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位: 百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		10.6	6.7	8.7					1.9		5.6
維持管理費		2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
撤去費											
合計		12.5	8.6	10.7	2.0	2.0	2.0	2.0	3.8	2.0	7.6
累計		12.5	21.1	31.8	33.8	35.7	37.7	39.6	43.5	45.4	53.0

施設アセスメント調査から算出。

※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位: 百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
転用費用		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
長寿命化費用		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
更新・修繕費		11.8	3.0	7.2	0.0	0.2	0.0	0.4	0.8	3.0	2.9
維持管理費		1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1
撤去費											
合計		12.8	4.1	8.3	1.1	1.3	1.1	1.4	1.9	4.1	4.0
累計		12.8	16.9	25.2	26.3	27.5	28.6	30.0	31.9	36.0	40.0

施設アセスメント調査から算出。

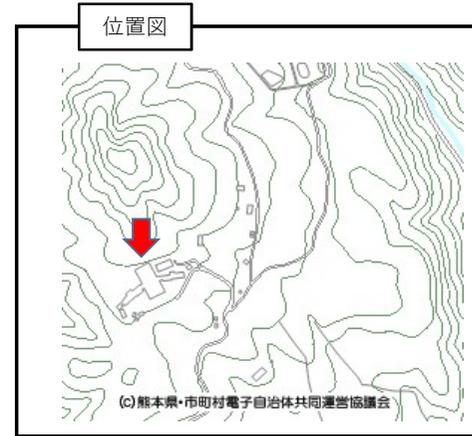
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	90	施設名称	菊池少年自然の家
	所在地	菊池市市原	施設管理所属	社会教育課
	敷地面積	81,305.0 m ²	都市計画区域	都市計画区域外
	延床面積	2,362.5 m ²	用途地域	
施設の目的	青少年の「生きる力」を育むとともに、幼児から高齢者までが安心して活動できる環境づくりと生涯学習の振興を目的とした山型(山間活動)施設			



(出典: 国土地理院)

2. 建物別一覧

面積: m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	管理棟	1975	LS	755.4	
2	宿泊棟A	1975	LS	319.1	
3	宿泊棟B	1975	LS	379.2	
4	雨天遊戯室	1975	LS	620.4	
5	研修室	1979	LS	288.5	

3. 建物毎の概要等

(1) 管理棟

① 概要

面積: m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	管理棟	1975	LS	755.4	1	0	46

※築年数はR3.3月末時点

② 利活用の方向性

A項目: 施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	3	17	18	14	1
適合度②/①	0.30	0.68	0.67	0.50	0.14

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目: 長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500m ² 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数 65年
※(令和22年)

・菊池少年自然の家保全計画に基づき目標使用年数を65年に設定し、計画的に改修工事を実施する。

・菊池少年自然の家保全計画に基づき、以下の改修工事を行う。
・R7 空調・給排水改修
・R10 屋根・内外部改修

③ 計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位: 百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		83.2	1.3	1.3	1.3		4.3		5.3	0.1	1.3
維持管理費		3.4	3.4	3.4	3.4	3.4	3.4	3.4	3.4	3.4	3.4
撤去費											
合計		86.5	4.7	4.7	4.6	3.4	7.6	3.4	8.7	3.4	4.7
累計		86.5	91.2	95.9	100.5	103.9	111.5	114.8	123.5	127.0	131.6

施設アセスメント調査から算出。

※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

(2)宿泊棟A

①概要

面積: m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
2	宿泊棟A	1975	LS	319.1	1	0	46

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目: 施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	5	18	20	16	0
適合度②/①	0.50	0.72	0.74	0.57	0.00

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目: 長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500m ² 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数 65年
※(令和22年)

- ・菊池少年自然の家保全計画に基づき目標使用年数を65年に設定し、計画的に改修工事を実施する。
- ・菊池少年自然の家保全計画に基づき、以下の改修工事を行う。
 - ・R7 空調改修
 - ・R11 部分改修

(3)宿泊棟B

①概要

面積: m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
3	宿泊棟B	1975	LS	379.2	1	0	46

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目: 施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	5	18	20	17	0
適合度②/①	0.50	0.72	0.74	0.61	0.00

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目: 長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500m ² 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数 65年
※(令和22年)

- ・菊池少年自然の家保全計画に基づき目標使用年数を65年に設定し、計画的に改修工事を実施する。
- ・菊池少年自然の家保全計画に基づき、以下の改修工事を行う。
 - ・R7 空調改修
 - ・R11 部分改修

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位: 百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		2.1	1.1	2.2		0.0	0.0		0.9	0.1	0.1
維持管理費		1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4
撤去費											
合計		3.5	2.5	3.6	1.4	1.5	1.4	1.4	2.3	1.5	1.5
累計		3.5	6.0	9.6	11.0	12.5	13.9	15.3	17.6	19.2	20.7

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位: 百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		15.6		9.2		0.2	0.0		4.2	0.5	0.4
維持管理費		1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7
撤去費											
合計		17.3	1.7	10.9	1.7	1.9	1.7	1.7	5.9	2.2	2.1
累計		17.3	19.0	29.9	31.6	33.4	35.2	36.8	42.7	44.9	47.0

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

(4)雨天遊戯室

①概要

面積: m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
4	雨天遊戯室	1975	LS	620.4	1	0	46

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目:施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	4	17	20	18	0
適合度②/①	0.40	0.68	0.74	0.64	0.00

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目:長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500m ² 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数 65年
※(令和22年)

- ・菊池少年自然の家保全計画に基づき目標使用年数を65年に設定し、計画的に改修工事を実施する。
- ・菊池少年自然の家保全計画に基づき、以下の改修工事を行う。
・R10 屋根・内部大規模改修

(5)研修室

①概要

面積: m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
5	研修室	1979	LS	288.5	1	0	42

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目:施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	4	17	18	14	0
適合度②/①	0.40	0.68	0.67	0.50	0.00

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目:長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500m ² 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数 61年
※(令和22年)

- ・菊池少年自然の家保全計画に基づき目標使用年数を61年に設定し、計画的に改修工事を実施する。
- ・菊池少年自然の家保全計画に基づき、以下の改修工事を行う。
・R7 空調設備改修
・R10 屋根・内部改修

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位:百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		47.6	0.3	1.0		2.5	10.0				0.1
維持管理費		2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8
撤去費											
合計		50.4	3.0	3.7	2.8	5.3	12.7	2.8	2.8	2.8	2.9
累計		50.4	53.4	57.1	59.9	65.1	77.9	80.6	83.4	86.2	89.0

施設アセスメント調査から算出。

※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位:百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		28.0	11.6	3.8		1.6	0.1		3.6	0.5	0.0
維持管理費		1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3
撤去費											
合計		29.3	12.9	5.1	1.3	2.9	1.3	1.3	4.9	1.8	1.3
累計		29.3	42.2	47.2	48.5	51.4	52.8	54.1	58.9	60.7	62.0

施設アセスメント調査から算出。

※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。